



▲バスに書かれた「Dream (ドリーム)」の文字



村民の子どもたちへの 思いと夢をのせて 走る「ドリームバス」

村が「までいな次世代育成村民債」の発行によって村民から集めた資金を活用し購入した学校バス（中型・42人乗り）が、飯館中学校（遠藤隆徳校長）に納車されました。（新学校バス納車式の様子、20ページをご覧ください）

バスのデザインは中学生たちから募集し、村教育委員会で審査を行った結果、3年生の佐藤郁花さんが考案したデザインが選ばれました。

佐藤さんがデザインしたバスは、さわやかな青空を背景に赤・青・黄色の色とりどりの風船が描かれています。バスの前後と両面には「Dream (ドリーム)」が大きく書いてあり、文字通り、空いっぱい「夢」があふれるデザインです。

今回納車された新しいバスは、今後、中学校の部活動での遠征や、校外活動などの時に利用されます。

また、今まで使用してきた中学



▲バスのデザインを考案した佐藤さん（右）

私がこのデザインにした理由は、バスを見かけた人や利用する人たちが楽しくなる、かわいいイメージにしたいということと、バスを見かけた人たちの印象に残るようなデザインにしたかったからです。

同時に、飯館村の自然あふれる青い空とバスに乗る人たちの夢や思いを、それぞれ色の風船で表現しました。

これから、コンクールや大会、行事などご利用あると思いますが、長く大切に使用してほしいと思っています。

校バスは、2月22日に生徒たちが感謝の気持ちを込めて洗車を行い、その後、生徒全員でお別れ会を開きました。

子育て相談室 — お気軽にご相談ください —

携帯電話 その4

子どもに携帯電話を与えている飯館村の保護者の皆さんは、携帯電話に「プロフ」というものがあるのをご存知ですか。プロフはプロフィールの略のことで、携帯電話で簡単に作ったり、見たりすることができ自己紹介用ホームページです。

ページは、生年月日、好きな教科やスポーツなど用意された項目に自分のことを記入すると自動的に作れます。閲覧には該当するID番号を打ち込みます。そして、訪問者はコメントを書き込むことが可能です。

この書き込みが魔物で、誹謗中傷が氾濫して、相当数の子どもたちが被害にあい、傷ついています。仕返し悪口雑言書き込みや不健全な性の話題が多く紛れているのが現実です。決して健全なサイトではないのです。

携帯電話の向こう側には誰がいるのか、不明です。子どもに携帯電話を与えるからには、保護者は携帯電話の落とし穴に無防備であってはならないと思います。

飯館中学校スクールカウンセラー

海野 和夫